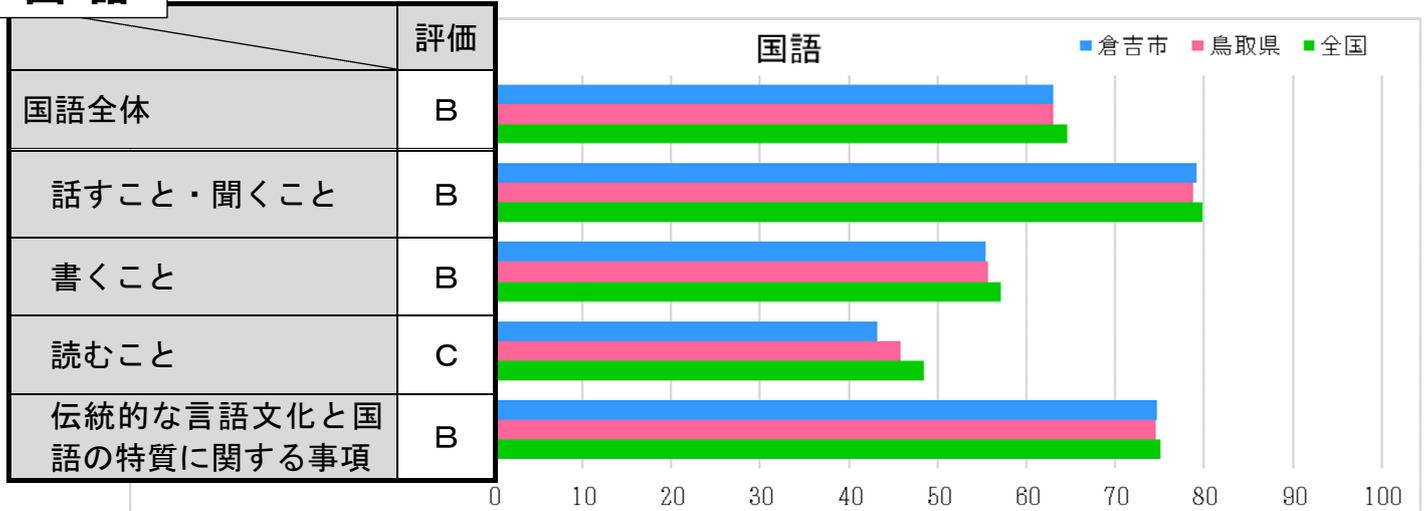


令和3年度全国学力・学習状況調査【中学校・教科の調査から】

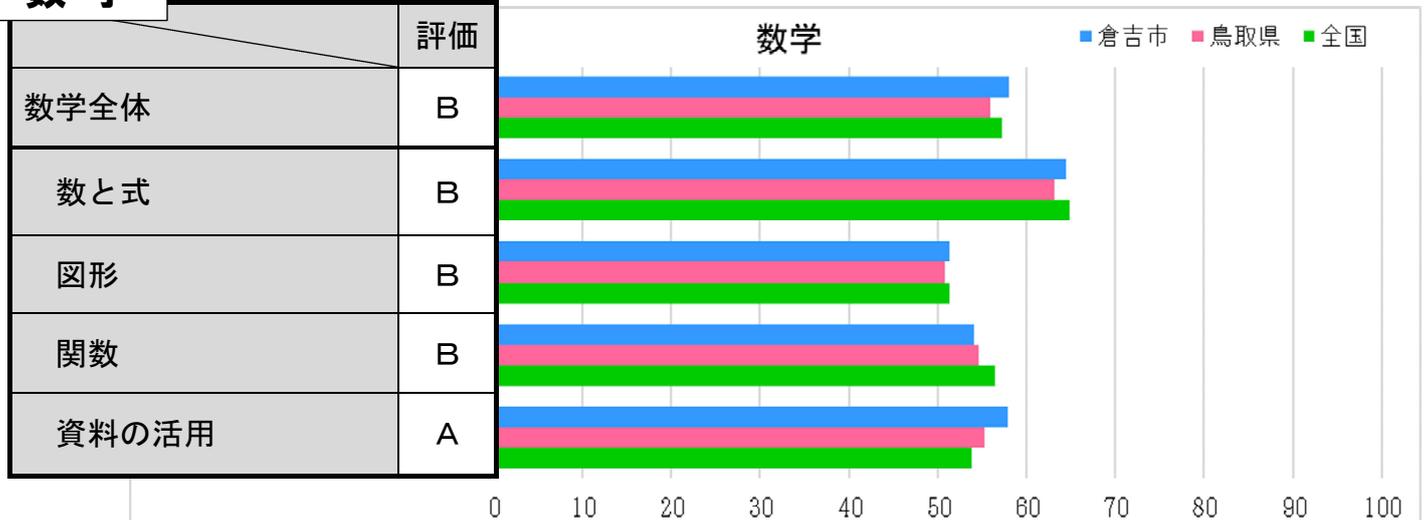
国語



全体の平均正答率は、県平均と同率で、全国平均を1.6ポイント下回り、ほぼ平均レベルの学力でした。

- ・「話すこと」に関して、話し合いの話題や方向性、質問の意図をとらえる問題がよくできていました。また、漢字を読むこともよくできていました。
- ・「読むこと」の正答率が低く、特に登場人物の言動や心情、文章に表現されるものの見方などの読み取りに課題がありました。

数学



全体の平均正答率は、県平均を2.0ポイント、全国平均を0.8ポイント上回り、ほぼ平均レベルの学力でした。

- ・「資料の活用」の正答率が高く、グラフ等を読み取り、データの傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて説明することがよくできていました。
- ・「関数」において、2つの要素関連付けて必要な情報を適切に読み取ることに、やや課題がありました。

評価について

A : 全国平均との差が+3%を超える

B : 全国平均と同等から±3%まで

C : 全国平均との差が-3%を下回る